

# きらめき



## 第17期生 広報誌第3号

### 仲よく、明るく、楽しく



きらめき市民大学 17期生 修学旅行 松本城 令和元年 5.15

#### 記載内容

自治会長挨拶

クラブ活動報告

事務局だより

自由投稿

修学旅行行程

編集後記

修学旅行紀行文

東松山市 きらめき市民大学 第17期生自治会

令和元年9月25日 発行

### 【自治会長挨拶】

仲よく、明るく、楽しく

会長 鹿熊 敬三

9月に入り、夏の暑さから開放されて、過ごしやすくなってきました。皆さんは、もうクラスの人の名前は覚え、親交も深まってきたことと思います。

さて、学園祭がぐつと近づいて来ましたが、各係の準備も、大分進んできましたが、1年生の人の名前と顔は覚えましたが、重要なことですので、よろしく願います。



全体授業1

今年、学園祭をじっくり運営しようと考えています。式典開始を15分早め、一般参加者の方には式典が終つて

から入場してもらい、ゆっくりと参観してもらいます。

また、模擬店を外部委託にしました。学生の人数が減ってきているので、負担を減らすことや地域の方との連携も視野に入れてのことです。

私たち学生も楽しめ、地域の方々にも楽しんでもらえればと考えています。学園祭までは、係の仕事やクラスの練習があつて、たいへん忙しい日々を過ごすことになりましたが、当日を楽しみにがんばりましょう。

私たちのもう一つの課題である「課題研究」は、進んでいますか。まだ日がありま



全体授業2

ので、あわてることはないのですが、グループ全員の意見をまとめることは、たいへん難しいこととです。しかし、まとめなくてはレポートも

完成しませんし、発表もできません。それぞれのグループによってまとめ方は違ふと思いますが、グループ全員の意見が反映されるように願います。

あと半年で卒業です。今まで以上に親交を深めていきましょう。そして、顔と名前も覚えましょう。

### 【事務局だより】

事務局長 戸口 好久

今年、2年目となりました事務局長戸口です。よろしく願います。

日頃より市民大学の運営に対してご協力をいただき、ありがとうございます。

皆様が、熱心に勉学やクラブ活動に励まれている姿を見るたびに感動しております。



今年度の入学者は83名ですが、来年度以降は更に多

くの方に大学を知ってもらい、入学者が増加することを期待しています。

そのためには、皆様のご協力が必要です。お知り合いの方の勧誘をお願いします。

皆様が、明るく楽しい学園生活を送れるよう精一杯ご協力させていただきます。

### 【第17期修学旅行行程】

#### 企画委員一同より

5月14日(火)

空は雨模様でも心は晴れやかに、これから17期の修学旅行の出発！

一年前、第17期生「きらめき」創刊号にて、「最近お腹がぼっこり・・・」と投稿しましたが、その後一念発起。現在、体重14キロ減、ウエスト10センチ減。(電気刺激によるトレーニングの成果か?) おかげで真っ赤だった健康診断が「異常なし」になりました！

一台目の大型バスは事務局長さんと「くらしと健康学部・歴史郷土学部」、二台目の中型バスは矢部さんと「国際文化学部」の美男美女を乗せきらめき市民大学を出ました。修学旅行の行き先は何度も話し合いを重ね諏訪方面に決まりました。

関越自動車道から中央道へとバスが進む

と山々に薄雲が漂う美しさに目を奪われた、それは日常から旅への切り替えの始まりです。2日間皆さんよろしくお願いします。最初の見学場所はサントリー・白州蒸留所、植物が何年も自然のままに静かに息付いている道を進むとそこには博物館。見学後、試飲をする『うーん、何と良い香り、芳醇な味、何時もと同じウイスキーなのに何が違うのだ?』首を傾げながら飲んでいた皆さんの姿が印象的でした。諏訪大社に到着した頃は、しとしと雨に変わり傘を手にして歩く石畳は風情が一層加わりました。空に届きそうな樹齢一千年の大木を見上げる顔に降り注ぐ雨が、そのを洗い流して無垢の心にくれた、そんな気持ちにさせてくれたようです。両手を合わせて願う思いは、きっと届くと感じました。御柱に選ばれるという杉の木は、幹が真っ直ぐに伸び近寄り難い荘厳なものでしたが人々の心に寄り添うのか故郷を離れて暮らす人に郷愁を思い出させ、『〇〇県人集合』の声が木立のあちこちで木霊(こだま)していました。



これから学園祭、課題研究発表会、卒業式まであつとい間ですが、事務局職員一同、みなさんと楽しく学園生活が過ごせるよう努めて参

りますので、どうぞよろしく願います。

いよいよ上諏訪温泉、今晚のお宿「ぬのはん」に到着です。部屋に向かう廊下の飾り棚には古い壺や掛け軸が置かれ、古き時代の風情が佇んでいます。明治の後半、斉藤茂吉・伊藤左千夫などのアララギ派の歌人の常宿となり歌会が数多く開かれたと云います。落ち着いた雰

気の中、歩を進めると苔むした庭の向こうから詩を詠む声が聞こえてくるようです。

かんぱーい！乾杯！ 大広間のあちこちからグラスを合わせる音と共に嬉しそうな声が上がリ、バスの中での歌やゲームに興じたことで更に一歩親しさが増したようです。○○学部の呼び出しの声があり、いよいよ自慢の出し物が始まります。

各学部の皆さんとても芸達者で、やんや、やんやの大喝采です。素晴らしいチームワークで短時間の練習にも関わらず楽しい歌や踊りを披露してくれました。企画部の話し合いの中、余興をしてくれる人がいなかったら如何する、ゲームの追加も考えておこう等の心配が杞憂に終わったのが嬉しい限りでした。

いよいよ最後のゲーム、学部の人々が座って円陣を組みバレーボール。風船を落とさずに何回続けられるかを競うのだが、狙った所に行かない・フワフワと浮いて届かない・とんでもない方向に飛んでいく、など続けるのがなかなか難しい。それでも上手く打ち返しが続く度にソーレ、ソーレの応

援の声が学部を越えて上がる。旅の目標である「3学部の心を一つに」が達成された瞬間だったと思えました。接戦の末、1位は歴史・郷土学部、2位はくらしと健康学部、3位は国際・文化学部でした。

昨日とは打って変わり陽の光は刺すような暑い光になり、見上げる城は眩いばかりに光り輝いている。小笠原貞慶が本能寺の変の時、深志城を回復し松本城となって400年。堀に並々と水を湛えその中に建つ雄々しき姿は永い年月を経ても尚人々を魅了しています。

敵の攻撃に対して沢山の守りの方法があり考えられた造りは、命がけで城を守る武士の必死の思いを感じられました。今の平和の時代に生まれた有難さをかみ締め命を大切に生きなければと、ありふれた言葉が真実に思えたのは私だけでしょうか。

旧開智学校は町民が工事費の7割の寄付を負担し新しい時代に期待する校舎の誕生となっている。校舎は和風と洋風が混ざったモダンな建築の造りで、風見を配した八角塔が立ち白壁にギヤマンを使った窓のコ

ントラストは美しく明治6年の建築様式とは思えない建物に感心するばかりでした。当時の教育資料を見ると今の学習の基礎となっている事が伺えた。教えてもらう態度、教える姿勢は現代にも通じ現在にその考え方を取り入れると良いと思えました。令和元年5月17日に国宝になったのは当然と言えるだろう。

2日間はあつという間に過ぎ、バスの窓から「またね、ありがとね、よかったよー」のさよならの挨拶を掛け合っている声に、楽しんで頂けたのだとホッと胸を撫で下ろした企画部一同でした。皆様の協力を得て元気に帰って来られたことに感謝致します。



令和元年5月14日(火)

東松山市きらめき市民大学 17期生修学旅行行程

令和元年5月15日(水)



## 【修学旅行紀行文】

### 修学旅行の思い出

くらしと健康学部 菊地 枝理子

5月14日7時30分きらめき市民大学を出発。東松山駅で全員が合流し、一路山梨・長野方面へ向かいます。車中では「おやつと歓談」が飛び交い和やかな雰囲気、最初の見学地はサントリー白洲蒸留所です。きれいに整備された敷地を進んでウイスキー博物館へ。世界のウイスキーの歴史や文化を学びました。有料の試飲をされた方によると大変美味しく満足されたそうです。

昼食は、おぎのや諏訪インター店で「釜めし」を頂き、次の見学の丸高味噌蔵へ向かいました。歴史を感じさせる蔵は登録有形文化財となっています。無添加の味噌や鯖缶の試食、買い物などを楽しみました。

雨の降りしきる中、初日最後の目的地、諏訪大社下社秋宮を参拝しました。境内の「根入れの杉」は樹齢なんと6000〜7000年、歴史の重みを感じました。

宿泊は上諏訪温泉の「ぬのはん」です。夕食時は有志の方々の出し物やクラス対抗のゲームで大いに盛り上がりました。

2日目は晴天に恵まれ国宝の松本城へ、天守への階段があまりに急でびっくり。昔

の武士は軽々と登り降りしていたのでしょうね。

次の見学は旧開智学校です。木造洋風建築が綺麗に保存されていて、教育熱心な長野県のルーツを見る思いでした。

最後の目的地は大王わさび園です。昼食に「わさび丼」を頂き、広大なわさび園の遊水池や黒沢映画の撮影地となった水車などゆっくり散策を楽しみました。

午後5時過ぎ無事にきらめき市民大学帰着し、修学旅行は終了しました。

最後に、このように楽しく有意義な旅行を企画実施して下さった企画委員の皆様にご感謝してペンを書きます。お疲れさまでした。ありがとうございます。



諏訪大社にて

### 修学旅行記

国際・文化学部 矢島 國次

初日、全国諏訪神社二五〇〇〇の総本社、「諏訪大社」、宿泊は歴史ある「ホテルぬのはん」、2日目「松本城、旧開智学校、安曇野大王わさび園」等めぐる楽しい修学旅行でした。

私たちのクラスは、屋代学部長さんの勝負運強く、バス一台ゲットしました。

小島企画委員さんの名ガイドよろしく、バスの中は終始笑いのうずには包まれました。夜の懇親会の出し物は、すでに西郷輝彦の「星のフラメンコ」に決定していますが、練習はどうしようか話し合ったところ、行きバスの中でやりましょう・・・ということになり、歌い手は、屋代さんをお願いすることにしました。

バックの振り付けは、女子の方々が考えて下さいました。ところが何の因果か、私に歌うよう指名を受け、しぶしぶお受けする事になりました。

いよいよ夜の大宴会では、司会者の紹介のあと舞台上に整列し本番に突入しました。こんな多勢の前で歌った事などありませんでしたが、持ち前の「ハスキーな声」で気分良く歌わせていただきました。クラス皆んなの結束力の賜物です。やがて宴会も



諏訪大社にて

「野球の松商学園」「美術館」「あずさ号新宿から松本」など又「そば」「さくら肉」「山賊焼き」「ラーメン」などグルメの街、北アルプスの麓に広がる空気と花の香りあふれる、人口24万人の「松本市」へ訪問したので紹介させてい

ただきました。企画委員会の皆様有難う御座いました。山梨・長野 水の恵み 歴史・郷土学部 酒巻 恵子  
1日目 山梨県のサントリ―白州蒸留所へ。目的地の近くでは雨が降り始め、川の水は増えている。青空の下の緑も美しいが雨に濡れた木々の緑もつやつやして美しいものだ。南アルプスの麓に広がる静かで豊かな落葉樹の森。この森と水から作られたウイスキー。歴史も学べる展示物に山々を眺められる展望台。次は買い物。ショップ限定のウイスキーを購入して喜んでみると、店の奥から顔を赤らめ上機嫌で出てくる学友。口々に、「おいしかったよ、安いし。飲んだほうがいいよ、おすすめだよ。」という。様々なウイスキーを楽しめるバーが店の奥にあるようだ。しかし、集合時刻まで残り10分。かなり残念な気持ちを抱えてバスへ向かった。



松本城にて

を過ごすことができた。2日間だった。

お開きとなり、学部長の部屋に全員が集まる事になりました。「学園祭」の出し物や世間話に花が咲き夜更けまで語り合いました。学園祭出し物として「ドレミの歌」が候補にあがりました。翌朝お風呂で、「歴史の上野さん」から「昨晚はよかったぜ」とお褒めのお言葉をいただき、内心大変嬉しく思いました。2日目は上天気にも恵まれ、松本方面へ向かいました。私事ですが、2年前約1ヶ月程にわたり「相澤病院」で「陽子線治療」を受けた思い出の地です。近くに、「上高地」への玄関口「浅間温泉」、「梓川の清流」「信大医学部」「穂高神社」「野球の松商学園」「美術館」「あずさ号新宿から松本」など又「そば」「さくら肉」「山賊焼き」「ラーメン」などグルメの街、北アルプスの麓に広がる空気と花の香りあふれる、人口24万人の「松本市」へ訪問したので紹介させてい

ただきました。企画委員会の皆様有難う御座いました。山梨・長野 水の恵み 歴史・郷土学部 酒巻 恵子  
2日目 昨日の雨もあがり日が微かに差し込んできた。松本に向かうバスの車窓から見える景色は、日本の屋根と呼ばれる標高三千メートル級の山々。残雪を被る山の頂と青い空。その雪が溶けだし恵み豊かな清流となり麓の田畑とそこに住む人々に恩恵をもたらしている。安曇野の大王わさび園では北アルプスの冷たい清らかな水を利用して年間を通してわさびの栽培を行っているという。見渡す限りのわさび農場は南北におよそ一キロメートル。その脇に流れる蓼川(ただがわ)。広大なわさび園を巡った湧水は蓼川に集まる。川の底まで透き通り水草はゆらゆらと流れる様は心を落ち着かせる。美しい景色を眺めつつ仲間と楽しい時間を過ごすことができた。2日間だった。

## 【クラブ活動報告】

### ウォーキングクラブ

国際・文化学部 浅黄勝

ウォーキングクラブの活動も平成30年5月発足以来、令和元年6月で13回のウォーキングを実施しました。部員数も現在31名で、毎回20名前後の方が参加しています。圧倒的に女性の方の参加が多いです。女性の方は元気ですね。今回は6月のウォーキングを紹介します。嵐山町の「千年の苑ラベンダー園の散策」です。日本最大級の規模となるラベンダー園が嵐山町にオープンしました。植え付け面積、約八ヘクタールに約五万株が咲き誇る日本最大級の広さです。ウォーキングコースは、武蔵嵐山駅↓



千年の苑ラベンダー園にて

学校河原(トイレ)↓大蔵館跡↓鎌形八幡神社(トイレ)↓千年の苑ラベンダー園(トイレ・昼食)↓菅谷館跡↓武蔵嵐山駅、約十キロです。天候にも恵まれ、広大なラベンダー畑が広がり、もつと成長すれば、もつと素晴らしく観られることでしょう。来年が楽しみです。史跡とのコラボで、素敵な散策コースだと思います。皆さん良かったら一度散策してみてください。ウォーキングにも是非参加願います。

### パソコンクラブAとわたし

歴史・郷土学部 加美町子

わたしのパソコンは、インターネットを検索するだけの単なる道具でした。パソコンを知り、もつと便利に活用して少しでも楽しみたいとの思いで、パソコンクラブに入部しました。まるで初心者で不安いっぱいなのわたしでしたが、入部してから8月で1年5か月が経ち、パソコンは、今、一緒に頑張っています。

初日に教えて頂いた「ファイル?」「フォルダー?」基本の言葉の習得からスタートし春休み・夏休みも関係なく毎週のクラブ活動の時間が過ぎ「ワード」「エクセル」と一歩ずつ前進、パソコン操作ができる喜びを多少ながらも感じられるようになってき

ました。

そんな中、私事で作成が必要になり、今までに覚えた機能を色々取り入れながらの文章の仕上がりに、達成感を感じることが出来ました。(自己満足ですが...) 楽しんでパソコンの知識を得る事ができ

たのは、先生を初め部員の方々に毎回お世話になってお陰と深く感謝しています。今はまだ「パソコンが楽しくて!」までにはかなり遠い今のわたしですが、これから先、つまらずにでも、転んでも努力して楽しんでいきたいと思います。よろしくお願いします。



楽しい仲間達

### パソコンクラブBの活動報告

国際・文化学部 小出雅晴

早いものでクラブも1年過ぎました。山本先生以下5名のこじんまりしたクラブですが、先生が「IT」を入れてくれまして、



インターネットができる環境です。この1年はワードやエクセルをはじめ色々学びましたが、やはりインターネットが面白いし、



クラブ活動風景

無限の世界にはまりそうです。学びたい人募集中です。3名位ご希望の方は国際・文化学部小出までお申し出ください。

## パークゴルフクラブ

くらしと健康学部 吉岡 満男

今年5月に国際・文化学部の関口茂さんから世話人を引き受けました。現在の部員は17人です。活動は昨年からの月1回の月例会とし、第2土曜日に開催しています。今年は気候の変化で体調を崩したり、日程の都合がつかない人もいて、2組だったり、1組だったり、でした。  
少ないながらも、メンバーの中には上手くなりたいとの思いからか、「実は、きのう、

旦那さんと廻ったのよ」とか、「先週、このクラブ買ったのよ、このボールも付いていたの」とか、嬉しそうにお喋りしながらのラウンドだったり。

「いけない！OBだ、でもOB杭に当たって、フェアウエーに戻った」と胸を撫でおろすプレーヤーに、「そのマイボール、良く言うこと聞くね」と言うと、「そう、躡が大事ですから」と返す逞しい言葉に、思わず親しみを感じる場面も。

「オーバードライブだね。凄いいじゃん。細い腕なのに、ほんとに女性？」とか、イーグルを取った時なんかは「見た、これが私のじ、つ、り、よ、く、です」なんて、まじめに冗談を言いながら、プレーを楽しんでいます。



ナイス ショット！！

私事ですが、今年の年頭に立てた目標の

「4コースで15アンダー」を7月の月例会で達成しました。  
学園祭に課題研究に忙しい2年生の後半ですが、気分転換ができ

て、気楽にできるスポーツです。お休みしていた人も秋のパークゴルフを楽しみましょう。

## 農園クラブ

くらしと健康学部 辰巳 宏

現在の農園クラブは平成30年4月に、正式な規約を作り川合部長の元に立上げました。今年度(18期生)も新入部員4名を迎え、総勢15名の「きらめき市民大学農園クラブ」となっています。部員のなかには、栽培・肥料等の経験・知識豊富なOBの方にも参加して貰い野菜作りの基本から指導をお願ひしています。

当クラブは東農園と西農園との二カ所の畑の管理をしています。西農園には広さ5メートル四方の区画が10区画あり、この区画はそれぞれ10人のクラブ員により自分のみで年間を通して種まき・植付け・草刈・施肥・追肥・収穫を行う、よくある貸農園のようところです。

共同で管理しているところは、年十数回の共同作業日を設定し、耕起・草刈・種まき・植付け・水遣り・施肥・除草・追肥の作業を行い最後の収穫を迎えます。予想以上に良い作物を収穫したときの喜びは大きく、次はさらに良いものをという気持ちに



朝の作戦会議



スイカパーティー

なりました。  
 今までに収穫した作物等はジャガイモ・さつまいも・玉葱・カボチャ・トウモロコシ・落花生・枝豆等々種類は多く、特に印象に残っているのが昨年の西瓜の収穫です。朝一番に収穫し、きらめき市民大学の冷蔵庫で冷やしておき、当日の全ての作業を終了した後に部員の皆さんで「美味しい・美味しい」と言って食べました。  
 今年の5月には自然薯の植付けを新規に購入したパイプを使った方法で行いました。これは、自然薯が真直ぐ下へ延びるところを横に寝かせたパイプに沿って生育するので、収穫の際は大変楽なのだそうです。大いに期待しています。  
 たまには居酒屋に集まり、ビールを飲みながら野菜作りの話に花を咲かせ親睦を図っています。なお、私達の活動はホームページに掲載していますので、是非ご覧下さい。



キラポン17の仲間達

### 卓球クラブ

くらしと健康学部 手塚 美喜子

「キラポン17」きらめき市民大学に入り、1年が経ち、入学時より皆一段と卓球が上手くなりました？  
 準備体操をして、フォアの練習を10分間ずつ交代しながら全員とラリーをします。必死にラリーを続けようと一生懸命に白球を追いかけ、時間も忘れ、歳も忘れ、気持ちいい汗を沢山流します。  
 コーチが来てくれるとコーチの球は打ち易く、ラリーも続き何かとても上手くなつたようで、嬉しくなり皆とても張り切りま

す。  
 そしてお腹も減り家に帰って食事も美味しくいただけません。  
 卓球は以前からやってみたかったのですが、今更、初心者で教えて貰うなんて

出来る場所はないと思っていたので、とても嬉しく楽しいひと時を過ごしています。  
 卓球を通して、笑いの絶えない会話、卓球と関係ない各学部との情報交換など、話は尽きません。  
 大切な仲間と仲良く助け合いながら、早く皆で試合を楽しめるようになりたいものです。

### 太極拳クラブ

歴史・郷土学部 渡邊 勝則

1日講義を受けた後は、部活で体幹を鍛えて腰痛や膝痛を少しでも和らげたらと入部して1年半が経ちました。楊名時<sup>24</sup>式という太極拳を教わっていますが、「覚える必要はないから私の真似をして体を動かしましょう!」と言う岩井準師範の指導の下に、部員12名が衰えた体に鞭打って見よう見まねで演舞を行っています。  
 立禅(りつぜん)、八段錦(はちだんにしき)といった準備運動は何とか見ながらついていけるようになりましたが、本題の<sup>24</sup>式になると体がぐらつき静止できなかつたり、先生が視界から外れると、どうしても歯がゆい感じが続いています。それでも体を動かして汗ばんだ後のスッキリ感は心地良い気分



頑張ってます！

です。激しい動きではなく、おへそに全身の気を集めて、無の境地で呼吸を整え、緩やかに手足を動かすことが心身のリフレッシュに繋がっていると思われま

す。部員は私を含めて初心者ほとんどです。カッコよく出来ないのは当たり前、先生にも部員同士にも気兼ねなく参加したり休んだりするユルさも、継続している要因になっていきます。「好(ニイハオ)」「謝(シイエイシイエ)」「再見(シアイチエ)」「いつもの挨拶が緩やかに体育館に響くと、気持ちにメリハリがついて腰痛も治ったような気分になってくれます。

### 楽しくインディアカ

くらしと健康学部 玉木 伸子

きらめき市民大学に入学したときに、何か体のためにスポーツをしたいと思いましたが、15期から卓球を続けているので違うスポーツをと思い、私のそばに長い間インディアカをやっている方の力と道具を借りてコーチになつてもらいました。

部員3名で(募集したのですが)立ち上げたのがインディアカクラブです。インディアカボールと呼ばれる羽根のついたシャトルコック状のボールをネットをはさんで相対した2チームが互いに手で打ち合う団体競技です。

楽しく、怪我のない、気持ちいい汗を流そう、を合言葉にストレッチャやラジオ体操を取り入れていきます。

たまに地域のクラブにお邪魔して練習をかさねてきました。

うまく手に当たらなかつた羽根が少しずつとぶようになり1回も入らなかつたサーブが入るようになり、レシーブ・トス・アタックまでつながるようになり、だんだんとゲームらしくなり楽しくなりました。

今私たちの目標は11月10日の市民総合体育大会に出ることです。1勝でもできたら・・・そんな大それた

こと1セット取とれたら・・・、それよりみんな楽しく笑顔でひとりがあげた羽根をみんなであげられたら幸いです。



クラブ仲間達

### 【自由投稿】

心の角度を変える

歴史・郷土学部

木村 誠

この世の出来事は、なかなか自分の思い通りになりません。

例えば、百人の集会を開くという目標を立てたとします。当日、定刻になつても、五十人位しか集まらない場面を想像してみてください。「まだ五十人しか来ていない」と不満を言う人が必ずいることでしょう。

しかし、集まった人たちは、多用な中にも、何とか都合をつけて、時間通りに来てくださった人々です。

先ず、その人々に「おいで頂いて有難う」と感謝することが何よりも大切ではないでしょうか。

来ていない人に文句を言ってもどうにもなりません。

現実をそのまま受け入れ、感謝することで、周りの人も、みんなの気持ちもよくなります。

この事は、家庭や職場、地域での人間関係においても同様です。

目の前の人の言動を不平・不満で受けるか、感謝で受けるかで、大きな差が生まれます。

「こうでなければいけない」と頑固に考えていると、つい短所のほうに目が向いてしまいます。

完全な人間などいないのだから、学び合い、支え合うという柔軟な姿勢のときは、長所をいくつも発見できるのです。

人生を暗くするのも、明るくするのも、心の持ちようで決まるといえるでしょう。

日頃、文句ばかり口にしてしていると、また文句をいわなければならぬような出来事が起こって来る。

それを因果応報というのでしよう。逆に、いつも感謝をしていると、また感謝をしたくなるような出来事に次々と出会うということですね。

お互いさま、「五十人もおいで頂いて有難い」と、感謝ができるようになりたいと思います。

最近の世の中の状態を拝見いたしますと、何事につけても、感謝の心が欠けているように見受けられます。日々、感謝の気持ちで過ごすことが出来れば、もつと、まともな世の中になるのではないかと思うのですが、如何でしょうか。

人間は生きている限り、辛い時も、悲しい時もあります。そんな中にも喜びを見つけて、日々感謝しながら生活をしていきたいと思っております。



石 仏

### 【編集後記】

第17期生の広報委員会は、5月に令和の新元号を迎え、課題研究と学園祭の多忙な学園生活の中、第3号を発行する事が出来ました。今回は、学園生活の3大行事の一つである修学旅行紀行文の楽しい思い出を飾る事が出来ました。投稿頂きました皆様、大変ありがとうございました。次号は2月、発行予定です。

「仲良く、明るく、楽しく」学園生活を過ごしましょう！

| 第17期生広報委員会 |   |
|------------|---|
| くらしと健康     | 工藤 哲朗<br>辰巳 宏<br>手塚美喜子                    |
| 国際・文化      | 浅黄 勝<br>小出 雅晴<br>長谷部春雄                    |
| 歴史・郷土      | 福田 國臣<br>片山あき子<br>酒巻 恵子<br>島田多賀子<br>渡邊 勝則 |